

社報 (株)南信サービス 2021年度環境活動報告

2022年7月発行《編集・発行元》(株)南信サービス | SO事務局

環境目標の取組み結果

1. 油水分離槽清掃作業し忘れ対策（担当部署：営業部）

【目的】2023年度までに油水分離槽清掃の指示書を全箇所作成することで作業し忘れを無くす。

【目標】2021年度は指示書の作成状況を把握し、そのうえで未作成指示書の25%を作成する。

営業部として今年は新しく油水分離槽清掃作業指示書を全箇所について作成するという目標を立てました。今までも作業指示書を作成している箇所はありましたが、全てにあるわけではなく、運転手同士による引継ぎだけの箇所について作業し忘れの槽が出ていたため、事前に指示書を配布することで効率よく作業することが出来、また作業し忘れを防ぐことでお客様の満足度をアップ出来るのではないかという理由です。

新しい目標となったので、まずは現状把握として現在どの程度作業指示書が作成されているかを把握し、未作成の25%については1年間で作成することにしました。

結果25%を達成することが出来ました。来年度は35%分作成の目標としましたが、少しでも上乗せして2023年度に完了出来るようにします。

2. 運転手の労働災害対策（担当部署：業務部車輜課）

【目的】労働災害の要因を無くすことで労働環境の改善を目指す。

【目標】今年度は労働災害0を達成させるよう、労働災害の要因を再検証しその対策を取る。

業務部車輜課として昨年度労働災害が発生しており、今年度は労働災害0を達成するべく活動しました。

KYヒヤリハット活動や現場の安全パトロールを行って目標達成を目指しましたが、結果として7月に1件労働災害が発生してしまいました。

具体的には外の分離槽の蓋が腐食しており、お客様より注意を受けていたのに、蓋に飛び降りて蓋で胸を強打したという内容です。

作業前の現場確認等を全員に周知徹底させるとともに、本人には安全に関して再教育を受けさせました。また外部主催のKY教育を受講してもらうよう申込してあります。（22年度受講予定）

今年度も労働災害0が達成出来なかったため、次年度また取り組みますが、今度こそ達成出来るよう新しい施策を考えてやっていきたいと思っております。

3. 工場の労働災害対策（担当部署：業務部施設課）

【目的】労働災害の要因を無くすことで労働環境の改善を目指す。

【目標】今年度は労働災害0を達成させるよう、労働災害の要因を再検証しその対策を取る。

業務部施設課としても昨年度労働災害が発生しているため、今年度は労働災害0を達成するべく活動しました。

施策ですが、担当の者が全施設の作業を毎月1箇所1日張り付いてチェックしました。そこで危険箇所や作業があった場合には改善を指示することで、施設から危険を無くすというを行いました。

結果としては、1年間労働災害が発生することなく、目標達成となりました。危険箇所への表示や床の清掃、整理整頓などが主でしたが効果はあったと思います。

これで施設課での目標は完了としますが、労働災害0を継続出来るようこれからもやっていきたいです。また、車輛課では労働災害が発生してしまっているため、会社

全体として次年度こそ労働災害0となるように、協力できるところは協力していきます。



4. 工場の臭気対策（担当部署：業務部施設課）

【目的】工場内の臭気要因を全て特定し、臭気苦情0を目指す。

【目標】昨年度に引き続き対策を行い、今年度臭気苦情0を達成させる。

工場の臭気対策は2018年4月から取り組んでいます。現在は2つ取り組んでいまして、1つ目は汚泥受入棟入口に消臭剤を散布出来るようにすること、2つ目は硫化水素の発生を抑える対策を実施することです。

まず、1つ目ですが、車輛で消臭剤噴霧する薬剤を変更したら臭気が予想以上に抑えられたため、汚泥受入棟入口への消臭剤散布は現時点では必要が無いということで取りやめとなりました。

2つ目ですが、現在油水分離施設機能強化工事中であり、こちらの工事が終了して新設備が稼働した場合に希硫酸の使用量が減少することにより硫化水素も減少傾向になると予想されます。また現状通りの処理量は減少して新設備による処理がメインとなれば、処理水質も変化しますので、同行の見極めと硫化水素測定を行いつつ、対応していきたいと考えます。

5. 環境保全意識の向上（担当部署：全部署共通）

【目的】環境保全活動への取組みなどにより、環境に対する意識の向上を目指す。

【目標】環境保全活動を行いつつ、各部署において資格の充足を目指す。

環境意識を向上させるべく環境保全活動をいくつか実施したり参加したりしてきましたが、資格を充足させることでも意識を高めようということとで昨年に引き続き取り組みました。

昨年取得出来なかった酸素欠乏・硫化水素作業主任者は3名取得することができ、またダイオキシン類作業従事者も1名取得出来ました。更にはJQA主催のISOを活用したESG・SDGs対策コースを3名受講して今後SDGsを弊社で取り組んでいく上での基礎が出来たのではないかと考えております。

また、地元の松川自治会の防火水槽は秋に1箇所、また松川町内からの依頼で別に1箇所清掃を行っております。

その他としてゴミ拾い発動やエコキャップ回収活動も行っており、次年度も引き続いてやってまいります。

来年度になります、今年度「長野県SDGs推進企業」に登録させていただきましたので、次年度はSDGsに関する事について取り組んでいきたいと考えております。2030年に向けた指標がありますので達成出来るよう、また新たに指標（取組み）を追加出来るようにしたいです。



リスク及び機会

■ リスク

臭気騒音発生による社会的信頼性低下及び労働環境悪化
労働災害や労働時間超過等による社会的信頼性低下及び労働環境悪化
他社との価格競争激化及び処理原価上昇による利幅減少
自然災害の影響による作業の停滞、材料の未到着等
環境意識低下による社会的信用性低下及び環境悪化
従業員の感染症等による運搬量処理量の低下及び社会的信用性低下

■ 機会

法等の規制強化対応による社会的信頼性向上
適正な教育を受けた力量を持つ人員確保による遅滞ない処理
設備投資による設備改善及び遅滞ない処理の実施
現場作業の事前理解による高効率で現場に配慮した作業の実施
SDGs取組み推進による社会的信頼性向上

<潜在的な緊急事態>

施設全般	火災や地震等による設備の故障や焼失等 消火剤等の河川への流出
油水分離処理施設	油類漏洩による河川への流出 硫化水素発生による拡散
油水分離、有機 収集運搬業務	天竜川への排水が汚濁（水質悪化） 車輻事故及び故障による荷物の漏洩等

環境側面報告

■ プラスの著しい環境側面

- ・ 会社全体 長野県SDGs推進企業への取組み
- ・ 営業活動 現場指示書作成による誤作業対策

■ マイナスの著しい環境側面

- ・ 汚泥リサイクル施設 機械配管の故障破損

環境関連法規等の遵守状況の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

■大気汚染防止法	遵守しています
■水質汚濁防止法	遵守しています
■廃棄物処理法	許可更新あり 産廃収集運搬（滋賀県）
■消防法	遵守しています
■ダイオキシン類対策特措法	遵守しています
■P R T R法	遵守しています
■毒劇物法	遵守しています
■省エネ法	該当せず
■温対法	非エネルギー起源…該当（報告書提出）
■肥料取締法	遵守しています
■放射性物質汚染対策特措法	遵守しています
■河川法	遵守しています
■労働安全衛生法	遵守しています
■環境配慮契約法	適合しています
■地元協定	適合しています
□その他家電リサイクル法など	順守しています

2021年度遵守状況の評価の結果、遵守されていきました。
違反、訴訟等もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

労災対策は原因究明をしっかりと今後に生かしてもらいたい、来年こそ労災0になるようお願いする。汚泥リサイクル施設は12年目で施設の見直し等必要になる、修繕費もかなりかかると思うが早め早めの対応をお願いする。また特に運転手だがアルコールチェックが4月開始なので対応していく。それと来年度から力量に関係なく教育を実施するということが意識向上という意味でいいことなのでぜひやっていてもらいたい。今年は油水分離施設機能強化工事が完了予定なので、水質が良くなるように施設を生かしていてもらえたらと思う。車輛はコスト面から見直しを図っていくつもり。

環境方針

当社は、廃棄物の収集運搬及び中間処理事業活動を通して、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を行うことで、環境汚染予防及び関連するその他の環境保護に取り組みます。

関係する環境関連法規、条例、地元協議及び同意するその他の要求事項を遵守します。

また、以下の事項を考慮に入れつつ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標を設け、その達成に向けた活動を定期的に見直しながら推進します。

1. 廃棄物処理施設の運転管理向上
2. 資源・エネルギーのリサイクル向上
3. 廃棄物量削減
4. 環境保全意識の向上

以上を指針とし、地域社会に貢献するとともに、自然環境を尊重し、明るい未来のためにまい進します。

2016年2月6日 代表取締役 竹村 博文

組織図

